



## 平成29年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成29年7月27日

上場会社名 M-GMOメディア

上場取引所 東

コード番号 6180 URL <http://www.gmo.media/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 森 輝幸

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 石橋 正剛

TEL 03-5456-2626

四半期報告書提出予定日 平成29年8月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成29年12月期第2四半期の業績(平成29年1月1日～平成29年6月30日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年12月期第2四半期	2,205	△17.4	212	△28.4	210	△28.9	142	△26.3
28年12月期第2四半期	2,668	48.6	296	28.1	295	27.8	193	27.1

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年12月期第2四半期	82.00	79.26
28年12月期第2四半期	111.21	107.24

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年12月期第2四半期	3,635	2,301	63.3	1,325.83
28年12月期	3,863	2,318	60.0	1,335.79

(参考)自己資本 29年12月期第2四半期 2,301百万円 28年12月期 2,318百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年12月期	0.00	0.00	0.00	92.00	92.00
29年12月期	0.00	0.00			
29年12月期(予想)			0.00	94.00	94.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成29年12月期の業績予想(平成29年1月1日～平成29年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,000	△5.7	510	0.8	505	0.3	323	1.2	186.11

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年12月期2Q	1,868,839 株	28年12月期	1,868,839 株
② 期末自己株式数	29年12月期2Q	132,674 株	28年12月期	133,374 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年12月期2Q	1,735,730 株	28年12月期2Q	1,735,486 株

※四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。当社は、平成29年7月27日に機関投資家及びアナリスト向けの決算説明会を開催する予定です。当日使用する決算説明会資料は、当社ホームページに掲載する予定です。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書 .....	6
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(セグメント情報等) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善が続くなかで、各種政策の効果もあって一部に改善の遅れもみられるものの、緩やかな回復基調が続いております。

当社では主力事業であるECメディア事業とソーシャルメディア事業を中心に、会員数および訪問頻度、単価の向上を図って参りました。ただ、当四半期において収益に大きな割合を占めていたアドネットワークの広告レギュレーションに変更があったため、広告収入が下落しました。そのためその影響を受けた事業が収益を悪化させた一方で、影響を受けなかった事業は堅調に推移しました。その結果、当第2四半期累計期間の経営成績につきましては、売上高は2,205百万円(前年同期比17.4%減)、営業利益は212百万円(前年同期比28.4%減)、経常利益は210百万円(前年同期比28.9%減)、四半期純利益は142百万円(前年同期比26.3%)となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりになります。

#### ① メディア事業

ECメディアにおいては、「ポイントタウン」において、会員数および流通額が順調に増加したものの、広告収入は減少しました。一方「ゲソてん」においては、会員数および単価のいずれも上昇しております。ソーシャルメディアにおいては、検索エンジン経由の訪問者数および広告収入の減少が続いたものの訪問者数については下げ止まりつつあり、アプリにおける広告収入も増加しております。この結果、当第2四半期累計期間におけるメディア事業の売上高は1,748百万円(前年同期比9.2%減)、営業利益は188百万円(前年同期比17.9%減)となりました。

#### ② その他メディア支援事業

自社媒体向けに構築したアフェリエイト広告ネットワークを利用し、蓄積したノウハウを活用して外部のメディア媒体や広告主に対して提供する事業は、大口の広告主による一時的な好調要因が無くなったものの、堅調に媒体や広告主を獲得して推移しました。一方、アドネットワーク広告を外部のメディア媒体に提供する事業は、アドネットワークのレギュレーション変更の影響を受けて減少しております。その結果、当第2四半期累計期間におけるその他メディア支援事業の売上高は456百万円(前年同期比38.6%減)、営業利益は23百万円(前年同期比64.8%減)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期会計期間末における総資産は3,635百万円(前事業年度末比227百万円減)となりました。これは、ソフトウェアが33百万円増加したものの、売掛金が255百万円減少したことによるものであります。

負債は1,333百万円(同211百万円減)となりました。これは、ポイント引当金26百万円増加したものの、買掛金42百万円、未払金が30百万円、未払法人税等が85百万円、未払消費税が48百万円減少したことによるものであります。

純資産は2,301百万円(同16百万円減)となりました。これは、主に剰余金の配当により159百万円減少したものの、四半期純利益を142百万円計上したことによるものであります。

### キャッシュ・フローの状況

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)の残高は前事業年度末より3百万円増加し、2,375百万円(前年同期は2,164百万円)となりました。当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間において営業活動による資金の増減は、232百万円増(前年同期は226百万円増)となりました。これは主に、税引前四半期純利益210百万円及び売上債権の減少額255百万円、法人税等の支払額152百万円によるものであります。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間において投資活動による資金の増減は、29百万円減(前年同期は33百万円減)となりました。これは主に、ソフトウェアの取得によるものであります。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間において財務活動による資金の増減は、199百万円減(前年同期は125百万円減)となりました。これは主に、配当金の支払159百万円及びリース債務の返済40百万円によるものであります。

## (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年12月期につきましては、概ね予想どおりに推移しており、平成29年2月3日に発表いたしました業績予想を変更しておりません。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成28年12月31日)	当第2四半期会計期間 (平成29年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	772,143	625,767
関係会社預け金	1,600,000	1,750,000
売掛金	889,403	634,248
貯蔵品	22,025	42,879
その他	234,155	236,608
貸倒引当金	△539	△208
流動資産合計	3,517,187	3,289,296
固定資産		
有形固定資産	213,711	194,171
無形固定資産	44,352	67,136
投資その他の資産	88,057	84,726
固定資産合計	346,121	346,033
資産合計	3,863,309	3,635,330
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	300,176	257,622
未払金	245,351	214,700
未払法人税等	163,935	78,494
ポイント引当金	452,466	479,204
その他	236,933	172,987
流動負債合計	1,398,862	1,203,009
固定負債		
資産除去債務	12,417	12,515
その他	133,806	117,932
固定負債合計	146,224	130,448
負債合計	1,545,087	1,333,457
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	761,977	761,977
資本剰余金	836,279	836,961
利益剰余金	776,684	759,355
自己株式	△56,719	△56,421
株主資本合計	2,318,222	2,301,873
純資産合計	2,318,222	2,301,873
負債純資産合計	3,863,309	3,635,330

## (2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年6月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年6月30日)
売上高	2,668,329	2,205,171
売上原価	1,646,861	1,404,731
売上総利益	1,021,467	800,439
販売費及び一般管理費	725,353	588,435
営業利益	296,113	212,004
営業外収益		
受取利息	108	403
助成金収入	1,500	—
その他	101	—
営業外収益合計	1,710	403
営業外費用		
支払利息	1,842	2,120
その他	117	4
営業外費用合計	1,959	2,125
経常利益	295,864	210,282
税引前四半期純利益	295,864	210,282
法人税、住民税及び事業税	127,646	66,127
法人税等調整額	△24,785	1,822
法人税等合計	102,860	67,949
四半期純利益	193,004	142,333

## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年6月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益	295,864	210,282
減価償却費	32,546	46,675
貸倒引当金の増減額(△は減少)	—	△331
ポイント引当金の増減額(△は減少)	58,246	26,737
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△6,200	△16,840
受取利息及び受取配当金	△108	△403
支払利息	1,842	2,120
売上債権の増減額(△は増加)	△96,445	255,154
たな卸資産の増減額(△は増加)	△6,452	△20,854
その他の資産の増減額(△は増加)	△5,879	△943
仕入債務の増減額(△は減少)	41,445	△42,553
未払金の増減額(△は減少)	1,868	△30,877
その他の負債の増減額(△は減少)	13,205	△41,740
助成金収入	△1,500	—
小計	328,431	386,425
利息及び配当金の受取額	98	402
利息の支払額	△1,842	△2,120
法人税等の支払額	△101,264	△152,314
助成金の受取額	1,500	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	226,923	232,394
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
投資有価証券の取得による支出	△14,351	—
有形固定資産の取得による支出	△1,550	△333
敷金の差入による支出	△4,002	—
無形固定資産の取得による支出	△3,240	△29,110
貸付けによる支出	△9,900	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△33,043	△29,444
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
リース債務の返済による支出	△32,491	△40,715
配当金の支払額	△93,353	△159,590
自己株式の取得による支出	△143	—
自己株式の処分による収入	—	980
財務活動によるキャッシュ・フロー	△125,988	△199,326
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	67,891	3,624
現金及び現金同等物の期首残高	2,096,115	2,372,143
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,164,006	2,375,767



## (4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第2四半期累計期間(自 平成28年1月1日 至 平成28年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		
	メディア事業	その他メディア支援事業	計
売上高			
外部顧客への売上高	1,925,108	743,221	2,668,329
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	1,925,108	743,221	2,668,329
セグメント利益	229,873	66,240	296,113

(注) 1. セグメント利益の合計は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

2. セグメント利益には適当な配分基準によって、各報告セグメントに配分された全社費用を含んでおります。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第2四半期累計期間(自 平成29年1月1日 至 平成29年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		
	メディア事業	その他メディア支援事業	計
売上高			
外部顧客への売上高	1,748,510	456,661	2,205,171
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	1,748,510	456,661	2,205,171
セグメント利益	188,698	23,306	212,004

(注) 1. セグメント利益の合計は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

2. セグメント利益には適当な配分基準によって、各報告セグメントに配分された全社費用を含んでおります。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。